

CHANGE

検査中に手歯止めを外しても問題ない?!

会社の安全に対する認識 = 意識の低さが明らかになる!!

2月4日の業務委員会の前段で会社に対し「検査中の手歯止め撤去」について確認しました。組合員が「検査中の手歯止め撤去」を見たため、会社側に「担当者に注意していいのか? 管理者に報告するべきか? どうしたらいいのか?」を質問しました。

しかし、会社側（丹藤委員）は「今まで通り」としか答えませんでした。

若干のやり取り

【組合側】 今までの通りとは、注意するのか? 管理者に報告するのか? しないのか?

【会社側】 今まで通りです。

【組合側】 会社は前回「検査中は手歯止めを装着しており、転動防止措置は行っている」と回答しているが、検査中、手歯止めを外しているのは安全上問題があるのではないか?

【会社側】 そのような事実は把握していない。仮に検査中、手歯止めを外しても直ぐにブレーキを取ることが出来るし、手歯止めを外しても庫内は水平が取られているため問題ない。

どこに水平だから手歯止めを外して大丈夫だと謳ってあるのですか?

地震や突風などの自然災害、体調不良、勘違いやミスにより転動することは想定していないのですか? 会社は手前勝手な判断で安全をないがしろにしています!

会社は不安全な事実を確認したくないのか? 「見かけたら報告しなさい」とも言いません! 会社は都合の悪いことは何一つ答えようとせず、「今まで通り」を繰り返す、まさに壊れた人形のようなのです。

組合側の安全に対する指摘は、まったく聞く耳を持たず、無視のありさま!!

安全に対するあまりの認識の欠如・意識の低さであり、これでは安全が保たれません!!

安全綱領の「疑わしいときは手落ちなく考えて、最も安全と認められる みを採らなければならぬ。」の理念はどこに行ったのでしょうか?

私達は今後も会社の安全に対する問題を現場、業務委員会の場で追及していきます。